

○ 理科 小学校第5学年 ⑦

「流水の働き」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点			
			関意	思表	技	知理
(1)	上流から下流まで、川を全体としてとらえ、上流では浸食の働きがよく見られ、下流では堆積の働きがよく見られることなど、流れる水の働きの違いによる川の様子の違いを理解しているかどうかをみる。	[第5学年] B 生命・地球 (3) 流水の働き イ 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。				○
(2) ①	実際の川原の石の写真を見て、下流には小さな丸みのある石が見られることを理解しているかどうかをみる。	[指導計画の作成と内容の取扱い] 2 第2の内容の取扱い				○
(2) ②	下流の石が丸みがあるのは、流水の働きによって、石が流されていくうちに、われたりけずられたりして、形を変えたからであることを説明できるかどうかをみる。	(2) 生物、天気、川、土地などの指導については、野外に出かけ地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、自然環境を大切にし、その保全に寄与しようとする態度を育成するようにすること。		○		
(3)	雨が短時間に多量に降ったり、長時間降り続いたりしたときの雨水の流れや川の流れの様子から、水の速さや量が増し、地面を大きく侵食したり、石や土を多量に運搬したり堆積したりして、土地の様子を大きく変化させていることを理解しているかどうかをみる。	[第5学年] B 生命・地球 (3) 流水の働き ウ 雨の降り方によって、流れる水の速さや水の量が変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。				○
(4)	実際の川の写真を見て、曲がって流れているところでは、外側は流れが速く岸が浸食されて、内側は流れが遅く運搬された土や石が堆積することを推論し、説明できるかどうかを見る。	[第5学年] B 生命・地球 (3) 流水の働き ア 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したりたい積させたりする働きがあること。		○		